

取扱説明書

このたびは本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本装置を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

JRC 日本無線株式会社

無線LAN JRL-710AP3/AL3

IEEE802.11b/g		
IEEE802.11a		
W52	W53	W56



☑ RoHS

もくじ

1. 製品の特徴	…	1ページ
2. 必ずお読みください	…	2ページ
3. お使いになる時のお願い	…	4ページ
4. 機器構成および各部の名称と働き	…	5ページ
5. 設置方法および設置上の注意	…	9ページ
6. 無線LANへのログイン	…	10ページ
7. 故障かな?と思う前に	…	12ページ
8. アフターサービス	…	12ページ
9. 廃棄について	…	13ページ
10. 仕様	…	13ページ
11. 外観・寸法図	…	15ページ

1. 製品の特徴

- 国際標準規格である IEEE802.11a/b/g に準拠した無線通信方式を採用しています。データ伝送速度は最大 54Mbps^{※1}と有線LANにひけをとらない高速なデータ伝送が可能です。
- 送信出力は 2.4GHz 帯が 8mW/MHz, 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯が 2.5mW/MHz, 5.6GHz 帯が 1mW/MHz です。
- 外部アンテナインターフェースにより、豊富なオプションアンテナを利用可能で、広エリア通信・長距離通信など多彩なシステムに柔軟に対応できます。^{※2}
- PoE (Power of Ethernet) 対応により、Ethernet ケーブルで電源供給可能です。AC アダプタ (オプション) からの電源供給も可能です。
- 本装置と端末装置 (パソコン, ワークステーション) を Ethernet ケーブルでつなぎ電源を入れるだけなので、どなたにでも簡単に使用できます。もちろん、面倒なソフトウェアのインストール作業もありません。
- 端末装置 (パソコン, ワークステーション) のメーカーや機種にとらわれずに接続できます。また、接続に際してソフトウェアのインストール作業が不要であり、端末の OS 等が変更になってもそのままご使用いただけます。
- 電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、技術基準適合証明を取得済みなので、どなたでも免許なしに使用できます。
- 有害物質の使用禁止を定めた「RoHS 指令」に対応しています。(オプション品は除く)

※1 表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※2 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯は、屋内に限り使用できます。

2. 必ずお読みください

- 本装置は一般民生用です。生命維持装置その他極めて高い信頼性が要求される用途を前提としていません。本装置をこれらの用途に使用する場合は当社へご相談ください。
- 本装置は 2.4GHz 帯 / 5.2GHz 帯 / 5.3GHz 帯 / 5.6GHz 帯の電波を用いて通信します。電波はその性質上雑音や混信によって通信に障害を受ける可能性があります。本装置を利用してシステムを構築する場合は通信障害の存在を考慮してください。
- 本装置には、技術基準適合証明を受けた特定無線設備が収納されています。
- 本装置を分解・改造しないでください。
- 本書の一部、または全部を当社に無断で転載または複製することは禁じます。

本装置の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)等が運用されています。

- 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局等が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、本装置をお求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談してください。
- その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局等に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本装置をお求めになった販売店までお問い合わせください。

**無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です!)**

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をする可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。







従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。

セキュリティの設定などについて、お客様自身で対処できない場合には、販売店までお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

本書中のマークの説明

	警告	この表示は警告を促す内容があることを告げるものです。この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示は注意を促す内容があることを告げるものです。この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
		これらの記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
		これらの記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

3. お使いになる時のお願い

**警告**









安全にお使いいただくために必ずお守りください

	本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となるほか、不法改造により電波法で罰せられることがあります。
	表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	オプションの AC アダプタは本装置専用です。指定外の機器に使用しないでください。また、本装置にオプションの AC アダプタ以外の電源を接続することはおやめください。火災・感電・故障の原因となります。
	AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
	濡れた手で本装置や AC アダプタに触れないでください。感電や故障の原因となります。
	電源プラグの刃、および刃の取り付け面に埃が付着している場合はよく拭いてください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	万一、煙が出ている、へんな臭いがする、異常に熱いなどの異常に気がついたときは、直ちに AC アダプタをコンセントから抜き、他の機器との配線ははずした上でお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	本装置の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入らないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
	本装置や AC アダプタは水、油、薬品等がかかる恐れのある場所や、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に置いたり使用したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	お客様による内部の点検・修理は絶対に行なわないでください。専門点検員以外による点検・修理は火災・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は当社またはお買い求めの販売店にご依頼ください。

**注意**

安全にお使いいただくために必ずお守りください

	本装置を移動させる場合は必ず AC アダプタをコンセントから抜き、外部機器との接続ケーブルははずしてから行ってください。コードが傷つき、故障の原因となることがあります。
	本装置や AC アダプタの上に重いものをのせないでください。故障の原因となることがあります。
	本装置を長時間使用しない場合は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
	AC アダプタをコンセントから抜くときは、AC アダプタ本体を持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷ついて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
	水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に低温、高温の場所や、温度変化の激しい場所、衝撃や振動の激しい場所での使用および保管をしないでください。故障の原因となることがあります。 特に次のような環境でのご使用、保管はさけてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光の当たる場所 ・湿度の高い場所 ・ほこりの多い場所 ・火気のある場所 ・暖房、冷房器具のそば ・振動、衝撃の加わる場所 ・腐食性ガスの発生する場所

 注意	安全にお使いいただくために必ずお守りください
	本装置や AC アダプタは屋内で使用・保管し、屋外や直射日光の当たる場所での使用・保管はさけてください。故障の原因となることがあります。
	本装置や AC アダプタをぐらついた台の上や、傾いている場所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
	冷却状態のセットを高温の場所にいきなり置かないでください。セット内部が結露して故障の原因となることがあります。
	テレビやラジオなど電磁波を発生するような機器の近くで使用しないでください。正常な動作に悪影響を及ぼす原因となることがあります。
	お手入れの際は、安全のため必ず AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・故障の原因となることがあります。
	外装を清掃する場合は、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合には布に水か中性洗剤を含ませた後に、かたく絞ってから、汚れた部分を軽く拭いてください。 ベンジンやシンナー等の揮発性有機溶剤や、薬品、化学ぞうきん、殺虫剤を使うと、変形・変色・故障の原因となることがあります。
	本装置に関する故障障害や保守点検等のお問い合わせまたはご相談は、お買い上げの販売店までお願いいたします。

4. 機器構成および各部の名称と働き

(1) 構成

本装置は次のもので構成されています。

	品名	数量	備考
①	本体	1	
②	取扱説明書	1	本書

ご購入後、上記構成に欠品がないことをご確認ください。万一欠品がありました場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

(2) オプション品

● 屋外ユニット

本装置を屋外で使用する場合に収容する屋外ユニットです。ヒータ（オプション）を装備すると、-30℃から動作可能です。（ヒータなしの場合、-10℃から動作可能です。）

保護等級は IP43 相当（直径 1mm 以上の固形物が内部に侵入しない。鉛直から 60 度以内の噴霧状に落下する水によって有害な影響を受けない。）であり、アンテナからの誘雷対策用に同軸避雷器が付属されています。

型名	備考
GWN-100A	セパレートタイプ 電源は GWN-101A 電源供給ユニットから供給
GWN-101A	GWN-100A 用電源供給ユニット
GWN-110B	スタンドアロンタイプ 電源は PoE、または、AC アダプタによる供給が可能です。 AC アダプタ（オプション）をご利用になる場合は、AC 電源の配線工事が別途必要です。

● アンテナ

本装置に使用できるアンテナを示します。詳細はお近くの支社・営業所までお問い合わせください。

(a) 2.4GHz 帯

型名	形式	半値角	偏波	利得	コネクタ
NZA-606	ダイポール	水平面 無指向	垂直	2dBi	SMA-P型
NZA-612	単一	水平面 無指向	垂直	2dBi	SMA-P型
NZA-640	パッチ	水平面 65度 垂直面 60度	垂直	9dBi	N-J型
NZA-642	パッチ	水平面 62度 垂直面 62度	垂直	9dBi	N-J型
NZA-653	コリニア	水平面 無指向 垂直面 20度	垂直	5dBi	N-J型
NZA-655	コリニア	水平面 無指向 垂直面 32度	垂直	5.5dBi	N-J型
NZA-661	パッチ	水平面 30度 垂直面 30度	垂直	15dBi	N-J型
NZA-665*1	パッチ	水平面 12度 垂直面 12度	垂直	22.5dBi	N-J型

(b) 5.2/5.3GHz 帯*2

型名	形式	半値角	偏波	利得	コネクタ
NZA-606	ダイポール	水平面 無指向	垂直	2dBi	SMA-P型
NZA-642	パッチ	水平面 70度 垂直面 40度	垂直	9dBi	N-J型
NZA-646	パッチ	水平面 18度 垂直面 18度	垂直	18dBi	N-J型

(c) 5.6GHz 帯

型名	形式	半値角	偏波	利得	コネクタ
NZA-606	ダイポール	水平面 無指向	垂直	2dBi	SMA-P型
NZA-644*1	パッチ	水平面 68度 垂直面 50度	垂直	9dBi	N-J型
NZA-645	パッチ	水平面 34度 垂直面 28度	垂直	14dBi	N-J型
NZA-646	パッチ	水平面 18度 垂直面 18度	垂直	18dBi	N-J型
NZA-656-W56 *1	コリニア	水平面 無指向 垂直面 40度	垂直	5dBi	N-J型

※1 受注生産品

※2 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯は、屋内に限り使用できます。

【備考】

- アンテナの仕様は、予告無く変更されることがあります。

- アンテナケーブル

本装置とアンテナを接続するケーブルです。

型名	線種	長さ	線径	減衰量 (2.4GHz 帯)	減衰量 (5GHz 帯)
7ZCWN0005	5D-HFA	3.5m	7.7mm	2dBi	3dB
7ZCWN0006	5D-HFA	15m	7.7mm	6dBi	9dB
7ZCWN0090	3D-2E	1.5m	5.3mm	2dBi	3dB
7ZCWN0091	3D-2E	6m	5.3mm	6dBi	9dB

【備考】

- 組み合わせできないアンテナがあります。

- AC アダプタ

本装置の専用 AC アダプタです。

型名	備考
7EPWN0011	外観・寸法図は11章を参照してください

- シリアルケーブル

本装置を「CONSOLE」ポート経由で設定するための専用シリアルケーブルです。

型名	長さ
7ZCWN0004B	1.2m

- ユーザーズマニュアル

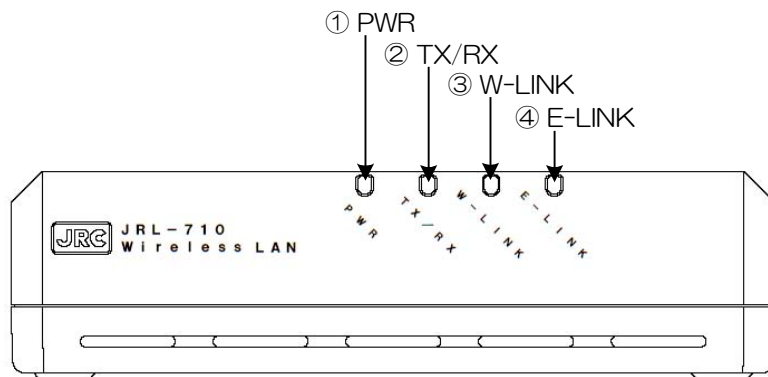
本装置の詳細な設定方法が書かれているマニュアルです。

ユーザーズマニュアルは、弊社ホームページからダウンロードできます。

(3) 各部の名称と働き

● 前面

本装置の前面図とその働きを示します。



名称	働き
① PWR	本体に電源が供給されると「緑色」に点灯します。
② TX/RX	「橙色」：送信時に点灯 「緑色」：受信時に点灯 子局動作時，親局検索中は周期的に「緑色」と「橙色」の点灯を繰り返します。
③ W-LINK	子局が親局に接続した時に点灯します。 「橙色」：親局設定で子局接続時に点灯 「緑色」：子局設定で親局接続時に点灯
④ E-LINK	正常に Ethernet ケーブルが接続された時に点灯します。 「橙色」：10BASE-T として LINK した時に点灯 「緑色」：100BASE-TX として LINK した時に点灯

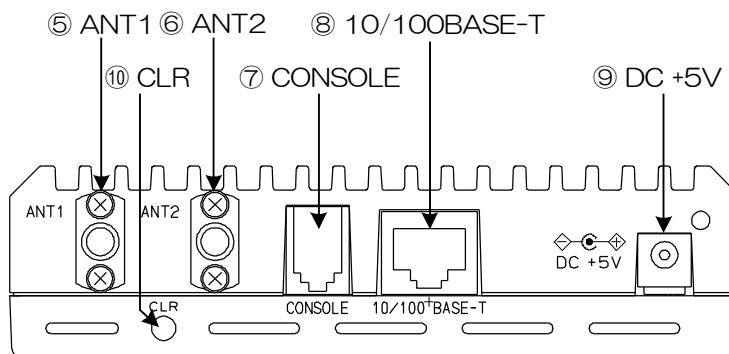
⚠ 注意



PWR の LED が「橙色」点灯中は，電源を切らないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。





● 背面

本装置の背面図とその働きを示します。



名称	働き
⑤ ANT1	アンテナ (オプション) を接続します。
⑥ ANT2	ダイバーシティ動作をさせる場合にアンテナ (オプション) を接続します。
⑦ CONSOLE	シリアルケーブル (オプション) を接続します。
⑧ 10/100BASE-T	Ethernet ケーブルを接続します。
⑨ DC +5V	AC アダプタ (オプション) を接続し，装置に電源を供給します。 電源を PoE により供給する場合，AC アダプタは不要です。
⑩ CLR	設定を工場出荷時の状態に戻します。 「CLR」ボタンを押しながら，本装置の電源を投入します。「CLR」ボタンを押し続けていると，「PWR」ランプが「緑色」から「橙色」に 1 秒間切り替わります。その後，装置は自動的に再起動され，工場出荷時状態で起動します。

5. 設置方法および設置上の注意

 注意	
	雑音を発生する装置の近くに設置しないでください。通信できない原因となることがあります。
	アンテナを金属面やコンクリート製の壁・柱に近づけて設置しないで下さい。通信できない原因となることがあります。
	本体ケースの放熱穴をふさがないように設置してください。熱がこもって火災・故障の原因となることがあります。

(1) 設置上の注意

一般のオフィス環境における無線 LAN のサービスエリアは 10~60m 程度ですが、障害物の有無などによって変化します。無線 LAN が金属製パーティションなどの電波遮へい物で囲われているとき、近くに妨害電波発生源があるときなどは、通信距離が短くなる場合があります。無線 LAN の十分な性能を引き出すために、設置にあたっては次のことにご注意ください。

- ① 強い妨害電波の発生する装置に隣接して設置しないでください。
妨害電波を発生すると思われるものには、以下のものがあります。

- 電子レンジ、電気メスなど 2.4GHz 帯の電波を使った産業用医療機器
- JRL-710/720 シリーズ以外の 2.4GHz 帯無線 LAN および 5GHz 帯無線 LAN
- 2.4GHz 帯アマチュア無線機
- 2.4GHz 帯移動体識別装置（盗難防止器、入退室監視システムなど）

本装置には誤り検出機能がついていますので、電波妨害によって無線区間でビット誤りが起きても、誤ったデータを取り込んだりファイルを壊したりすることはありません。電子レンジのように、連続した強い妨害電波の場合は無線通信が全くできなくなります。このような場合には、発生源をなくすか遠ざける必要があります(3m 以上離してください)。

また、JRL-710/720 シリーズ以外の無線 LAN の場合は、互いにパケット通信ですので隙間をぬって通信はできますが、通信速度が低下することがあります。

- ② 無線の伝搬特性に影響を与えるような設置方法は避けてください。

- アンテナを金属面に近づけないでください。
- コンクリート製の壁・柱から隔てて設置してください。
- 金属製のパーティション（間仕切り）から隔てて設置してください。

設置にあたっては、通信する相手のアンテナが見通せることが最適条件ですが、ガラス・家具(木製)・書類などは大きな障害となりません。また、人体は電波遮へいや反射物の一つになりますので、アンテナは人体が電波の通路を横切らないような配置が望ましいといえます。

想定サービスエリア内で電波が届かないときは、電波遮へい物や妨害電波発生源を取り除くか、それらを避けて無線 LAN を移動させてください。また、オプションアンテナを使用してアンテナを高いところに設置する方法も有効です。

クライアント・サーバ型接続であれば、サーバ側の無線 LAN のアンテナを高いところに置くだけでサービスエリアが広がる場合があります。





- ③ 本体ケースの放熱穴をふさがないように設置してください。

本装置は、正常動作中でも多少発熱することがありますが、異常ではありません。しかし、放熱穴をふさいで使用すると正常な動作ができないばかりか、熱がこもって火災・故障の原因となることがありますのでご注意ください。また、窓際など直射日光の当たる場所は避けてください。

- ④ 医療機器の近くで使用しないでください。

医療機器（人工呼吸器やペースメーカーなど）のごく近くに設置しないでください。医療機器の動作に影響を与える可能性があります。



(2) アンテナの取り付け



 注意	
	アンテナコネクタのゆるみがないようにしっかりと固定してください。
	アンテナ上部を持って曲げたりしないでください。破損の原因となります。
	オプションアンテナ以外のものを接続しないでください。

オプションアンテナを取り付けます。アンテナまたはアンテナケーブルのコネクタと装置背面のアンテナ端子 (ANT1) をトルク値 0.59N・m で締め付けてください。

アンテナを 2 本使用し、ダイバーシティ動作をさせる場合には、「ANT2」のアンテナ端子にもアンテナを取り付けてください。ダイバーシティ機能を有効するには、本装置の設定を変更する必要があります。

(3) 電源の接続

 警告	
	オプションの AC アダプタは本装置専用です。指定外の機器に使用しないでください。また、オプションの AC アダプタ様以外の電源を接続することはおやめください。火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	電源の切/入は、必ず 3 秒以上の間隔を空けてください。短い間隔で電源を入れると、誤動作の原因になります。

電源を PoE 対応の HUB から供給する場合は、装置背面の「10/100BASE-T」のコネクタに Ethernet ケーブルを接続します。電源を AC アダプタから供給する場合は、装置背面の「DC+5V」のコネクタに接続します。ケーブルを接続してから、電源を供給してください。

(4) コンピュータおよび HUB との接続

コンピュータまたは HUB に接続する場合は、装置背面の「10/100BASE-T」コネクタに Ethernet ケーブルを接続します。ケーブル接続後、コンピュータまたは HUB と本装置の電源を入れ、本装置の「E-LINK」ランプが点灯していることを確認してください。

【備考】

- 本装置は、AUTO-MDI/MDI-X をサポートしています。ポートの種別 (MDI/MDI-X) やケーブルの種別 (ストレート/クロス) にかかわらず簡単に接続が行えます。(イーサネット速度を [Auto] に設定した場合、MDI/MDI-X 自動切替します。[Auto] 以外は MDI-X に固定です。)
- コンピュータまたは HUB と正しく接続された場合、装置前面の「E-LINK」ランプが点灯します。10Mbps で接続された場合は「橙色」、100Mbps で接続された場合は「緑色」に点灯します。

6. 無線 LAN へのログイン

本装置へのログイン方法を示します。本装置の設定変更、表示、試験用コマンドについては、ユーザズマニュアル (弊社ホームページからダウンロードできます) をお読みください。

無線 LAN の工場出荷状態の IP アドレスは「192.168.1.1/24」に設定されています。ここでは、本装置の IP アドレスを「192.168.1.1/24」として、ログイン方法を示します。

(1) ログイン準備

- ① 本装置へログインするためのコンピュータを準備します。コンピュータが本装置と通信できるように、コンピュータの IP アドレスを「192.168.1.x/24」に変更します。ただし「x」の値は、2 から 254 です。
- ② コンピュータの設定が完了したら、コンピュータと本装置を Ethernet ケーブルで接続します。コンピュータと正常に接続されると「E-LINK」ランプが点灯します。

【備考】

- 本装置は、AUTO-MDI/MDI-X に対応しております。Ethernet ケーブルは、ストレート、クロスどちらでもかまいません。Windows の“ping”コマンドを利用して、正しく接続したかどうかを確認できます。
- 本装置の設定を完了するまでは、本装置をネットワーク (LAN) に接続しないでください。

(2) ユーザーアカウント

工場出荷状態では、以下のユーザ名とパスワードが設定されています。セキュリティ保護のため、ご購入後、必ず最初のログイン時にパスワードを変更し、変更した内容は忘れないようにしてください。

ユーザ名	パスワード	権限
admin	admin	設定変更・設定表示
user	user	設定変更 (パスワードのみ)・設定表示

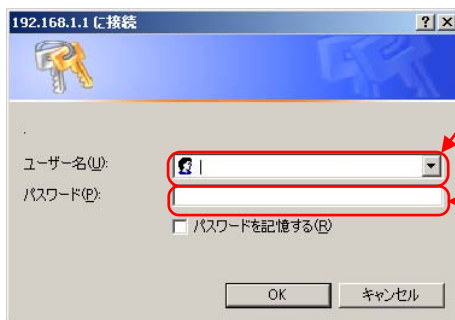
(3) ログイン

WEB ブラウザを利用して本装置にログインします。WEB ブラウザを起動し、HTTP アクセスします。WEB ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力すると、本装置と接続されて次のようなログインウィンドウが開きます。

(2回目以降のログイン時に WEB ブラウザに一時ファイルが残っている場合、ログインウィンドウを表示せずに次の段階に進むことがあります。これを避けるには WEB ブラウザの一時ファイルを消去します。例えば Internet Explorer 6.0 の場合、[ツール]⇒[インターネット オプション]⇒[インターネット一時ファイル]⇒[ファイルの削除]⇒[OK] を選択し、Internet Explorer を再起動してください)

【備考】

- WEB ブラウザは、Internet Explorer 6.0 にて動作を確認しています。他の WEB ブラウザでは表示および動作が異なる場合があります。
- ユーザ名とパスワードは全て半角英数文字で入力してください。
- ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。

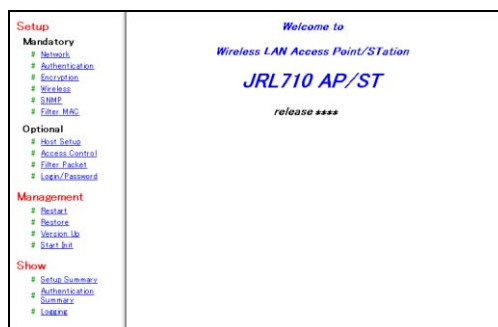


ユーザ名を入力します。
「admin」、「user」

パスワードを入力します。入力された
パスワードは「*」で表示されます。

ログインウィンドウ

ログインに成功すると、トップ画面が表示されます。これで、本装置へのログインは完了です。本装置の設定変更、表示、試験用コマンドについては、ユーザーズマニュアル（弊社ホームページからダウンロードできます）をお読みください。



トップ画面



7. 故障かな？と思う前に

本装置をご使用中に、下表のような症状が認められた場合は、故障と思われる前に以下のことをご確認ください。

症状	原因	対策
電源ランプが点灯しない	PoE 対応の HUB に電源供給されていない	HUB の接続を確認する
	Ethernet ケーブルが外れている	Ethernet ケーブルを正しく接続する
	DC プラグが外れている	DC プラグを正しく接続する
	AC アダプタがコンセントに接続されていない	AC アダプタを正しく接続する
	標準品以外の AC アダプタを使用している	標準品を接続する
「E-LINK」ランプが点灯しない	Ethernet ケーブルが外れている	Ethernet ケーブルを正しく接続する
	パソコンまたは HUB の電源が入っていない	パソコンまたは HUB を起動する
「W-LINK」ランプが点灯しない	無線 LAN の設定が合っていない	無線 LAN の設定を確認する
	無線 LAN 間の距離が遠すぎる、または近すぎる	通信可能な範囲に移動する
	アンテナ間の見通しが確保できていない	障害物を取り除くかアンテナを移動して見通しを確保する
	アンテナの方向が合っていない	アンテナの向きを調節する
通信しない	無線 LAN またはパソコンの設定が合っていない	無線 LAN またはパソコンの設定を確認する
	無線区間以外に障害がある	有線回線で動作確認する
通信速度が遅い	有線側のトラフィックが多い	適切な機器（スイッチング HUB やルータなど）を導入してトラフィックを軽減させる
	遮へい物がある	遮へい物を取り除く 無線 LAN を移動させる
	妨害波がある	妨害波源から遠ざける

- 無線 LAN の設定については、ユーザーズマニュアル（弊社ホームページからダウンロードできます）をお読みください。
- 以上を確認しても正常に動作しない場合は、お買い求めの販売店へご相談ください。

8. アフターサービス

 注意	
	本装置は容易に開けない構造になっています。むやみに分解するとけがや感電、故障の原因となることがあります。 また電波法に抵触する恐れがありますので、絶対に分解しないでください。分解しますと修理をお引き受けできなくなることがあります。

- 修理サービスや保守・点検についてのご相談は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
- 保証期間は、お買いあげ日より 1 年間です。
- 修理を依頼されるときは、保証期間中は、お買い求めの販売店にお申し付けください。以下の保証規定の内容により無償で修理いたします。保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- アフターサービスについてご不明の場合や、修理サービスや保守・点検についてのご相談は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

【保証規定】

- 保証期間内（お買いあげ日より 1 年間）に取扱説明書等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には無料で修理致します。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買いあげ後の輸送、落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、公害、塩害や指定外の使用電圧による故障および損傷

9. 廃棄について

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

【備考】

- 本装置は電池を使用していません。

10.仕様（製品の仕様は予告なく変更することがあります）

● 本体仕様

型名	JRL-710AP3	JRL-710AL3
周波数	2.4GHz帯：2412～2472MHz 5MHz間隔 13波（ARIB STD-T66） 5.2GHz帯：5180, 5200, 5220, 5240MHz 4波（ARIB STD-T71） 5.3GHz帯：5260, 5280, 5300, 5320MHz 4波（ARIB STD-T71） 5.6GHz帯：5500, 5520, 5540, 5560, 5580, 5600, 5620, 5640, 5660, 5680, 5700MHz 11波（ARIB STD-T71） ※ 5.2GHz帯および5.3GHz帯は屋内のみで使用可能	
無線通信規格	IEEE802.11a/b/g 準拠	
変調方式 (伝送速度)	OFDM-64QAM (54Mbps, 48Mbps), OFDM-16QAM (36Mbps, 24Mbps) OFDM-QPSK (18Mbps, 12Mbps), OFDM-BPSK (9Mbps, 6Mbps) DSSS-CCK (11Mbps, 5.5Mbps), DSSS-QPSK (2Mbps), DSSS-BPSK (1Mbps) ※ 表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。 ※ 5GHz帯では、直交周波数分割多重（OFDM）方式のみ使用可能です。 ※ 無線LANソフトウェア設定で伝送速度54Mbps, 48Mbpsのみを有効すると、回線状態の影響を受けやすく、スループットが低下したり、通信が途切れてしまうことがあります。回線状態の影響を軽減するために、36Mbps以下の伝送速度も有効にすることをおすすめします。	
送信出力	2.4GHz帯：8mW/MHz +20%, -80% 5.2/5.3GHz帯：2.5mW/MHz +20%, -80% 5.6GHz帯：1mW/MHz ±50%	2.4GHz帯：1mW/MHz +20%, -80% 5.2/5.3GHz帯：1mW/MHz +20%, -80% 5.6GHz帯：1mW/MHz ±50%
有線 インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX AUTO-MDI/MDI-X（ケーブルのストレート/クロスを自動認識）	
動作温度	-30～+65℃	
動作湿度	20～80%RH（結露しないこと）	
保存温度	-40～+65℃	
保存湿度	20～80%RH（結露しないこと）	
電源供給	PoE供給：PoE入力電圧DC48V または ACアダプタ供給：DC 5V±10%（マイナス接地）（ACアダプタ別売）	
消費電力	5W以下	4W以下
外形寸法	121.0×32.8×100.5mm（W×H×D）（突起部含まず）	
質量	400g以下	
公的認定	特定無線設備の技術基準適合証明（認証） 技術基準適合証明（認証）を受けた特定無線設備を収納	
環境仕様	RoHS対応	

● ACアダプタ（オプション）仕様

型名	7EPWN0011
形式	スイッチングレギュレータ方式
電源	AC 100/240V 50/60Hz
定格	DC 5V±5%, 3A
動作温度	0～+40℃
動作湿度	20～85%RH（結露しないこと）
保存温度	-20～+60℃
保存湿度	10～90%RH（結露しないこと）
外形寸法	94.2×40.0×30.5mm（W×H×D）（ケーブル含まず）
質量	200g以下
環境仕様	RoHS対応

● 屋外ユニット

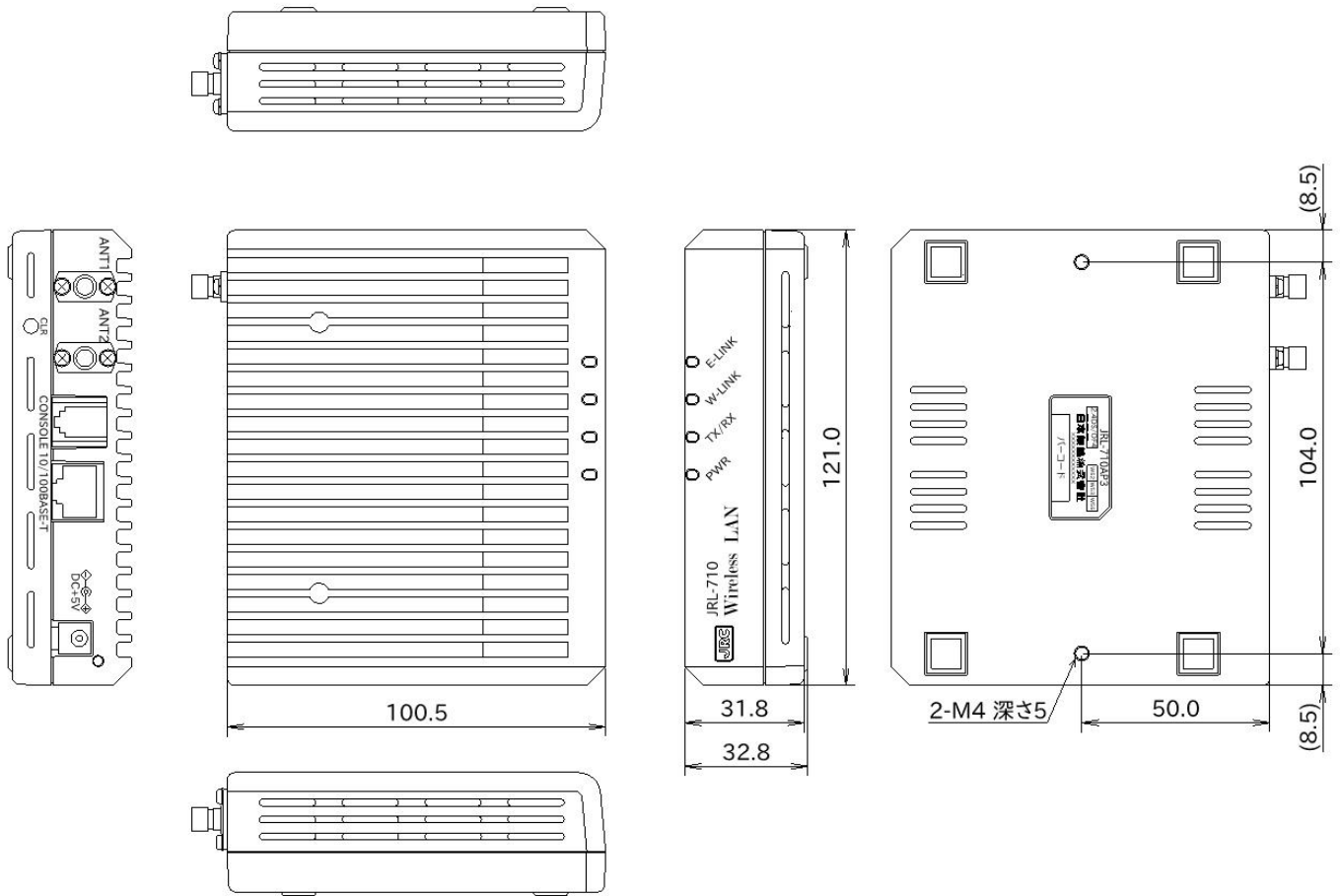
型名	GWN-100A	GWN-110B
電源供給	GWN-101A から供給 UTP(CAT.5)最大 100m	PoE 供給 または AC100V±10%供給
動作温度	-10~+50℃ (ヒータ使用時 -30~+50℃)	
取付形式	屋外ポール(縦・横)取付	
取付ポール径	直径 48~60mm	
保護等級	IP43	
外形寸法	200×300×100mm (W×H×D) (突起部含まず)	
質量	4kg 以下	

● 電源供給ユニット

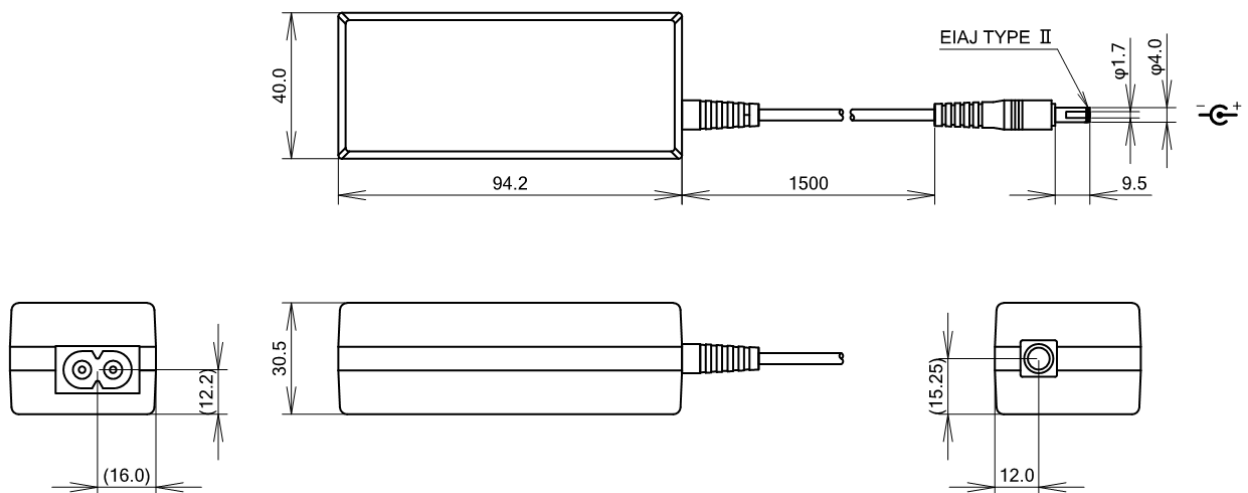
型名	GWN-101A
形式	屋内据置/壁掛け
電源	AC100V±10%, 20VA 以下
外形寸法	170×60×130mm (W×H×D) (突起部含まず)
質量	1kg 以下
動作温度	0~+40℃

11. 外観・寸法図（製品の外観・寸法は予告なく変更することがあります）

（単位：mm）



本体



ACケーブル（1.8m）が付属しています。

ACアダプタ（オプション）

 **日本無線株式会社**

<http://www.jrc.co.jp/>
(無断複製・転載を禁ずる)

第 1.3 版 2014 年 5 月
編 者 日本無線株式会社
発行者 日本無線株式会社

〒185-0035

東京都国分寺市西町 5-27-11
通信機器事業部 通信機器カスタマーサービスグループ
E-mail アドレス : wlan-support@jrc.co.jp
TEL : 042-537-7863 FAX : 042-537-8047

記載されている会社名および商品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。